

## <第 21 回 震災対策技術展>

第 21 回「震災対策技術展」が 2 月 2 日～3 日の 2 日間、パシフィコ横浜で開催された。昨年は 4 月の熊本地震に始まり、8 月には北日本に大きな被害をもたらした台風 10 号、そして 10 月の鳥取地震や阿蘇山噴火、また 11 月には福島県沖の地震による津波など多くの自然災害が発生した。一般市民や自治体、企業の防災意識が再び高まったせい、2 日間の来場者数は 18,468 名（昨年 16,067 名、震災展事務局発表）となった。

REIC では、今年も展示会場にブースを出すとともに、パシフィコ横浜アネックスホールにて、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、防災科研）との共催で「第 16 回 国土セーフティネットシンポジウム」を、「自然災害に立ち向かう SIP ～世界一の防災技術をどう活かすか～」をテーマにし、開催した。

シンポジウムは、防災科研理事長 林春男氏の開会挨拶、文部科学省研究開発局 地震・防災研究課防災科学技術推進室・室長 松室寛治氏の来賓挨拶で始まった（写真 1、写真 2）。なお、来場者は、関係者を除き約 200 名、過去最高となった。

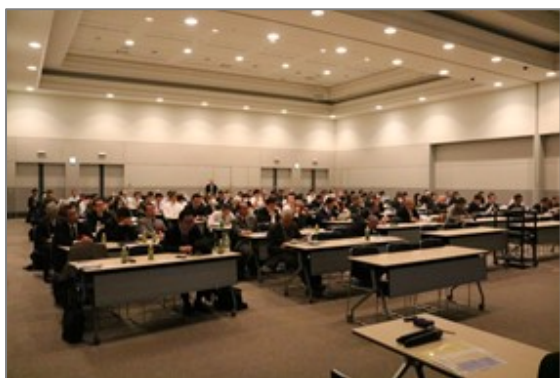


写真 1：シンポジウム会場



写真 2：来賓挨拶（文科省 松室氏）

基調講演は、東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授 平田直氏による「熊本地震の教訓 ～想定される首都直下地震の備え～」というタイトルで、昨年の熊本地震での被害状況、その教訓を、近い将来に想定される首都直下地震にどのように活かしていけるかという内容の講演であった（写真 3）。

「熊本地震に活かした SIP の成果」では、被災地の熊本で実際に活用された SIP の成果が報告され、前半は、防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター長 藤原広行氏より熊本地震発生後 10 分で揺れによる建物被害の推定分布図が得られたこと等が報告された。後半は、同研究所 総合防災情報センター長 臼田裕一郎氏より、SIP4D（府省庁連携防災情報共有システム）が現地でもどのように活用されたか紹介された。



写真 3：基調講演（東大地震研 平田氏）

同研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター 研究統括 岩波越氏からは「豪雨災害への SIP の活用と課題」ということで、SIP の一研究開発項目である「豪雨・竜巻予測技術の研究開発」における、観測技術の府省連携、民間気象事業者との共同で実現した「10 分先の大雨情報」等のリアルタイム予測システム開発の実施状況と課題について報告された。

最後の講演は、REIC 特別講演として、東京ガス株式会社 防災・供給部 防災グループ グループマネージャー 小山高寛氏から「東京ガスの地震防災対策」という題目で、東京ガスで推進している地震防災対策（予防対策、緊急対策、復旧対策）について、特に地震発生時に供給エリアに設置された約 4000 個の S I センサーで得られた S I 値を発災後およそ 5 分で収集し、2 次災害防止の保安装置や早期のガス供給再開などに活用される「SUPREME」という地震防災システムが、東日本大震災で有効に稼働した事が紹介された（写真 4）。



写真 4：REIC 特別講演（東京ガス 小山氏）

閉会の挨拶は REIC の早山会長により、講演に関する御礼と感想、および今後の REIC の活動方針を紹介した。

展示ブースでは「情報が命を救う」をコンセプトに、緊急津波避難情報システムの社会実験における報道並びにシステムの紹介ビデオ、緊急地震速報における警報と予報のパネル展示およびデモンストレーションと、アンケートによる来場者の情報収集やリアルタイム防災情報の開発・提供・発信に注力する REIC の活動を紹介した（写真 5）。



写真 5：展示ブース

なお、「第 16 回 国土セイフティネットシンポジウム」のプログラムは次ページに掲載。

第16回 国土セイフティネットシンポジウム  
「自然災害に立ち向かう SIP」  
世界一の防災技術をどう活かすか

プログラム

- (1) 開会の挨拶 林 春男 防災科学技術研究所 理事長
- (2) 来賓の挨拶 松室 寛治 文部科学省研究開発局 地震・防災研究課  
防災科学技術推進室長
- (3) 基調講演「熊本地震の教訓」  
～想定される首都直下地震への備え～  
平田 直 東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授
- (4) 「熊本地震に活かした SIP の成果」  
藤原 広行 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター  
センター長  
  
臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長
- (5) 「豪雨災害への SIP の活用と課題」  
岩波 越 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター  
研究統括
- REIC 特別講演
- (6) 「東京ガスの地震防災対策」  
小山 高寛 東京ガス株式会社 防災・供給部 防災グループ  
グループマネージャー
- (7) 閉会の挨拶 早山 徹 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 会長